

計画段階評価について

とっとり とよおか みやづ 鳥取豊岡宮津自動車道（とっとり鳥取～ふくべ福部）

意見聴取結果（第2回）

令和元年 12月5日

国土交通省 中国地方整備局

1. 第2回意見聴取の概要	・・・	2
2. 第2回意見聴取の結果	・・・	6
3. アンケートクロス集計結果	・・・	11

1. 第2回意見聴取の概要

1. 意見聴取の概要

- 回収率向上に向けて、自治体や観光地等における道路利用者アンケートの常設を実施。
- 鳥取豊岡宮津自動車道(鳥取～福部)ポータルサイトを作成し、WEBアンケート調査も実施。

■自治体、観光地等での道路利用者アンケート票の常設



▲とっとり賀露かっこ館

■道の駅、観光施設でのインタビュー調査 (平成31年2月21日(木)、平成31年2月23日(土))



▲道の駅神話の里白うさぎでの調査風景

■ポータルサイトの作成



バナーを掲載

ポータルサイト



第2回アンケート実施中

■WEBアンケートページの作成



対策案	特徴	メリット	デメリット
案1
案2
案3

1. 意見聴取の概要

■意見聴取(アンケート)内容

質問事項

▶ ○特に重視すべき項目

○インターチェンジなど
周辺からのアクセス検討時の配慮事項

○その他の懸念事項

【 アンケート質問票 】

(ご回答は、『回答はがき』に記載してください)

質問1 今回、3つのルート帯(案)を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？

以下の重視すべき項目①～⑭から、特に重視すべきと思われる項目について、最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

- ① 渋滞が緩和できること
- ② 交通事故が起きにくいこと
- ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
- ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
- ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
- ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること
- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 景観への影響が少ないこと
- ⑪ 人口集中地区を極力さけること
- ⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと
- ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
- ⑭ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください)

質問2 インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか？ご自由にお書きください。

質問3 道路を整備することによる懸念事項(生活環境、自然環境等)がありましたら、ご自由にお書きください。

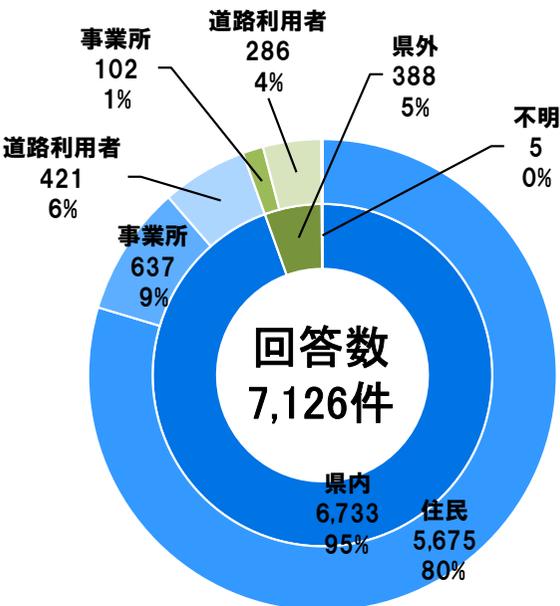
2. 第2回意見聴取の結果

2. 第2回意見聴取の結果

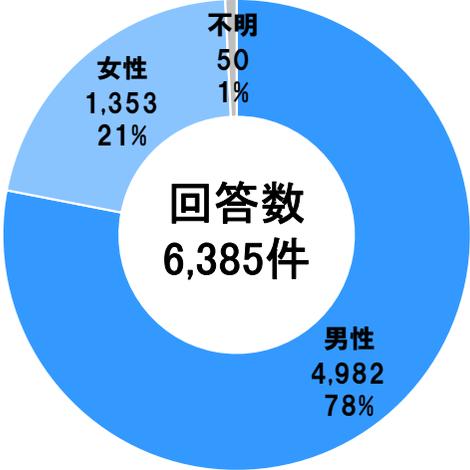
1) 属性①

○住民約5,700人、道路利用者約700人、事業所約700社から合計約7,100件の意見聴取を実施。
○回答数の9割以上が鳥取県内に居住、または所在している。
○住民・道路利用者については、回答者の約8割が男性であり、年代としては50代までが約4割を占める。

アンケート回収状況

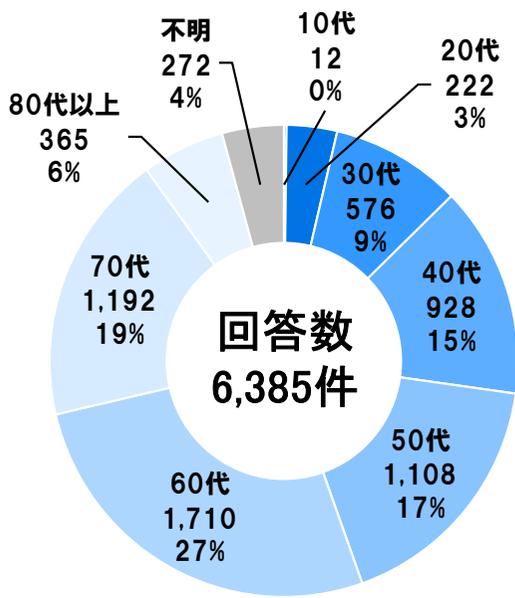


性別



※事業所を除く

年代



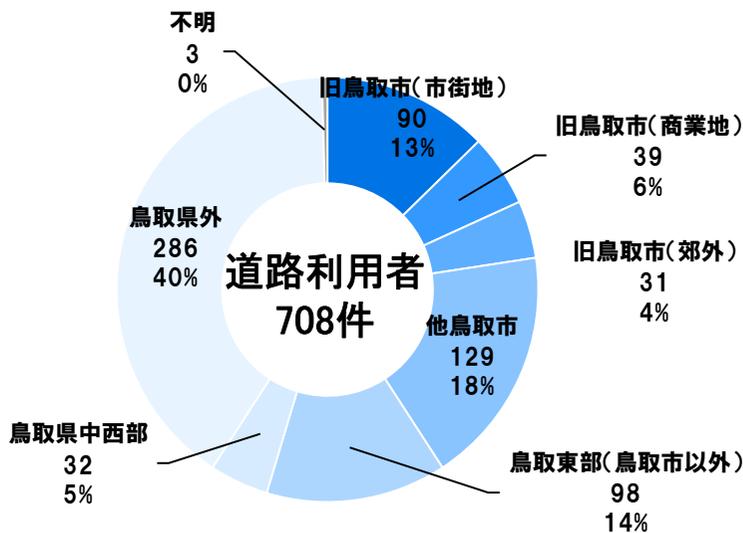
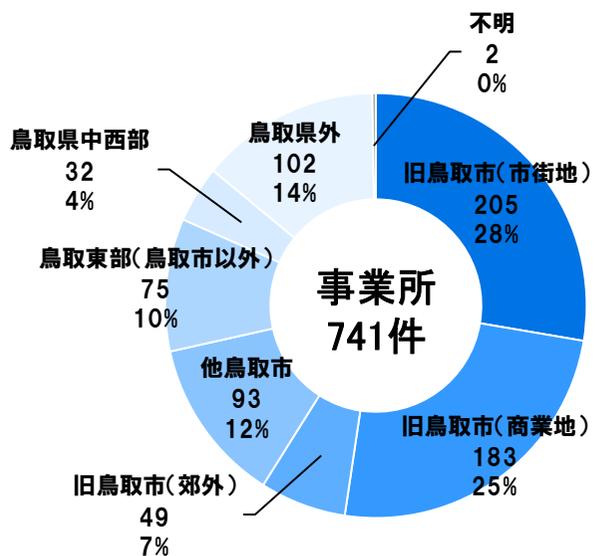
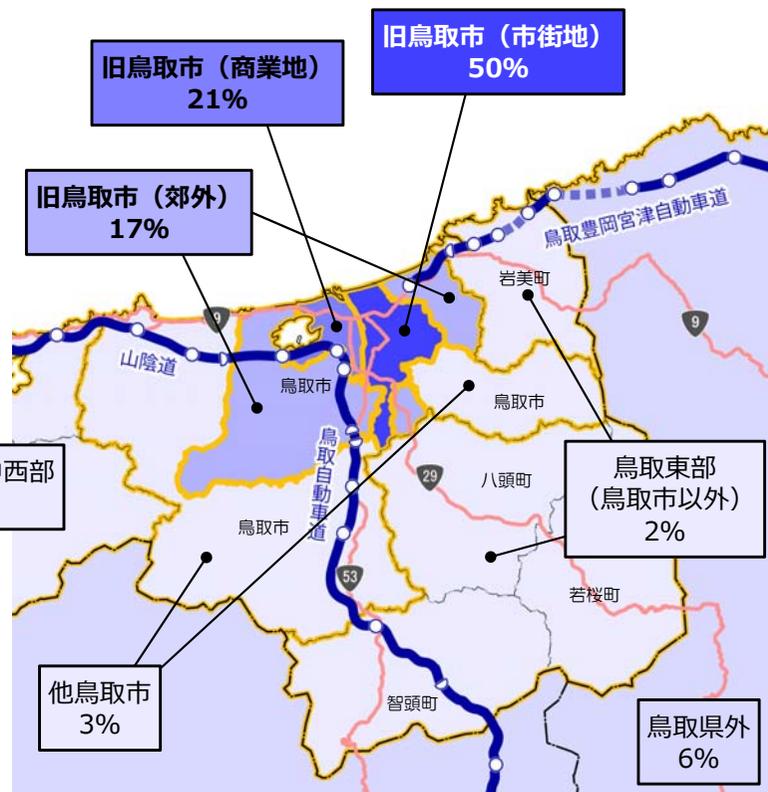
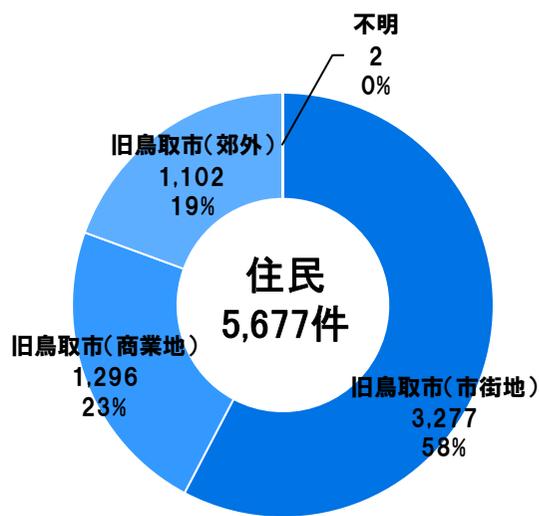
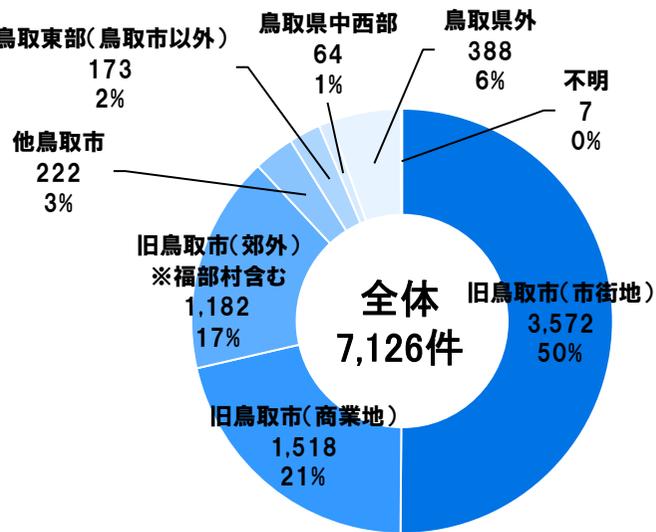
※事業所を除く

2. 第2回意見聴取の結果

1) 属性②

○回答者のうち、旧鳥取市域(福部村含む)からの回答が約9割を占める。
 ○市街地エリアが約半数で、商業地エリア、郊外エリアがそれぞれ約2割ずつを占める。

住所



《地区設定について》
 ※旧鳥取市(市街地)：中心市街地を含む千代川右岸側の市街化区域
 ※旧鳥取市(商業地)：近年、商業・工業などの開発が進む千代川左岸側の市街化区域
 ※旧鳥取市(郊外)：上記以外のアンケート対象地域(旧鳥取市、旧福部村)
 ※なお、地区設定は地区公民館区域図にて設定した

n=7,126

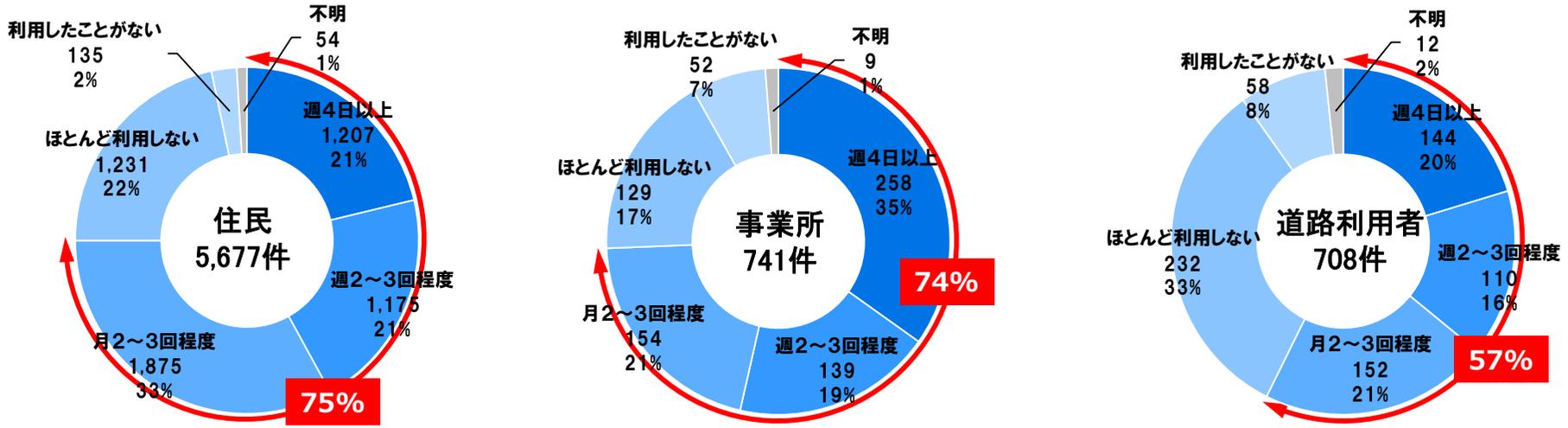
※旧鳥取市(郊外)には、旧福部村を含む

2. 第2回意見聴取の結果

1) 属性③

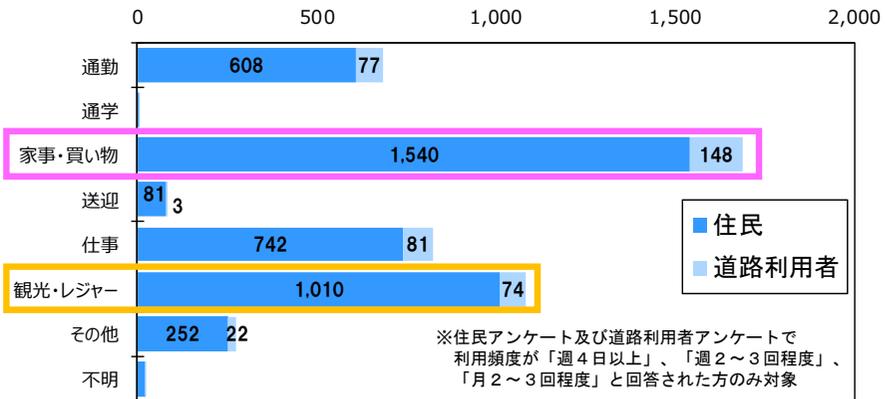
○回答者の6~7割が当該区間(鳥取~福部)を「月2~3回以上利用している」と回答。
 ○住民と道路利用者の利用目的は「家事・買い物」「観光・レジャー」と回答した方が多く、鳥取市内の移動、鳥取市から岩美町への移動が大半を占めている。

現在の国道9・29号(鳥取~福部間)の利用頻度

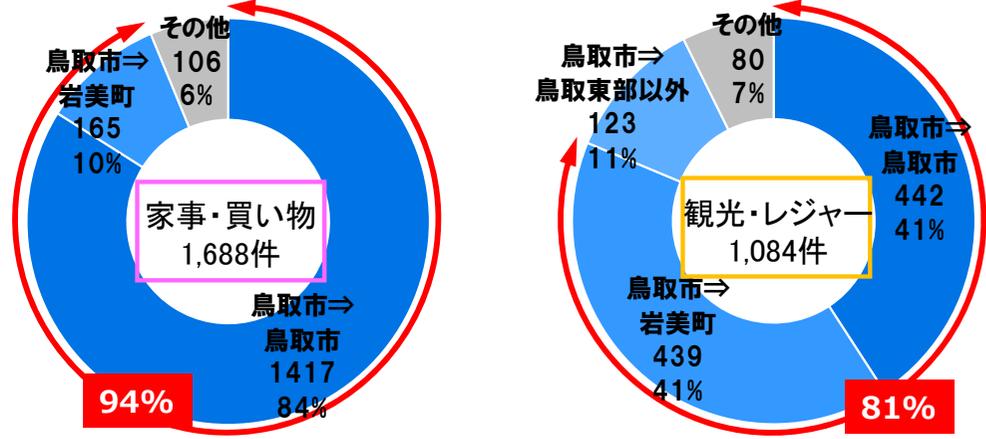


現在の国道9・29号(鳥取~福部間)の利用目的

■高頻度利用者の利用目的



■目的別のOD内訳



2. 第2回意見聴取の結果

2) ルート帯(案)を検討する際に特に重視すべき項目(住所別)

- 全ての地域において「① 渋滞が緩和できること」を重視する回答が多い。
- 対象区間沿線地域となる旧鳥取市では、「③自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること」、「⑬道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと」を重視する回答が他地域と比べて高い傾向。

質問1 今回、3つのルート帯(案)を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？
以下の重視すべき項目①～⑭から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

住所別の重視項目

特に重視すべきと思われる項目		旧鳥取市(市街地) (回答数: 3,368件)	旧鳥取市(商業地) (回答数: 1,434件)	旧鳥取市(郊外) (回答数: 1,124件)	他鳥取市 (回答数: 213件)	鳥取東部(鳥取市以外) (回答数: 168件)	鳥取県中西部 (回答数: 57件)	鳥取県外 (回答数: 371件)
効果・改善点による	① 渋滞が緩和できること(4,497件)	64.5%	67.7%	67.3%	71.4%	67.3%	77.2%	75.5%
	② 交通事故が起きにくいこと(2,071件)	32.2%	30.5%	29.4%	29.6%	26.8%	29.8%	24.5%
	③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること(2,430件)	37.5%	37.0%	35.4%	28.2%	29.8%	40.4%	28.0%
	④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること(1,386件)	20.0%	22.5%	20.4%	18.8%	28.0%	14.0%	17.3%
	⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること(1,209件)	17.0%	19.1%	18.1%	18.8%	13.7%	22.8%	21.8%
	⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること(216件)	3.1%	3.0%	3.1%	1.9%	5.4%	5.3%	4.3%
	⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること(1,973件)	28.9%	29.3%	31.0%	23.0%	27.4%	15.8%	33.7%
	⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること(1,221件)	18.3%	17.2%	18.3%	14.6%	19.6%	12.3%	22.1%
配慮すべき事項	⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと(389件)	6.7%	5.1%	5.7%	4.2%	3.6%	1.8%	2.7%
	⑩ 景観への影響が少ないこと(257件)	3.9%	3.1%	3.5%	3.3%	2.4%	5.3%	7.0%
	⑪ 人口集中地区を極力さげること(717件)	11.0%	9.9%	12.4%	10.3%	9.5%	7.0%	6.2%
	⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと(614件)	7.7%	11.4%	10.5%	12.7%	7.1%	5.3%	8.1%
	⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと(1,281件)	22.1%	18.2%	18.1%	11.7%	12.5%	8.8%	5.1%
	⑭ その他(159件)	2.3%	2.0%	1.6%	6.1%	5.4%	1.8%	2.4%

※割合は、「質問1」の回答者数に対する各項目回答数を示している。

※1人あたりの最大回答件数を最大3件でカウント(1件もしくは2件しか回答していない回答者がいるため回答件数の合計は回答者数の3倍とならない)

※住所不明の7件については、集計対象外とする。

3. アンケートクロス集計結果

3. アンケートクロス集計結果

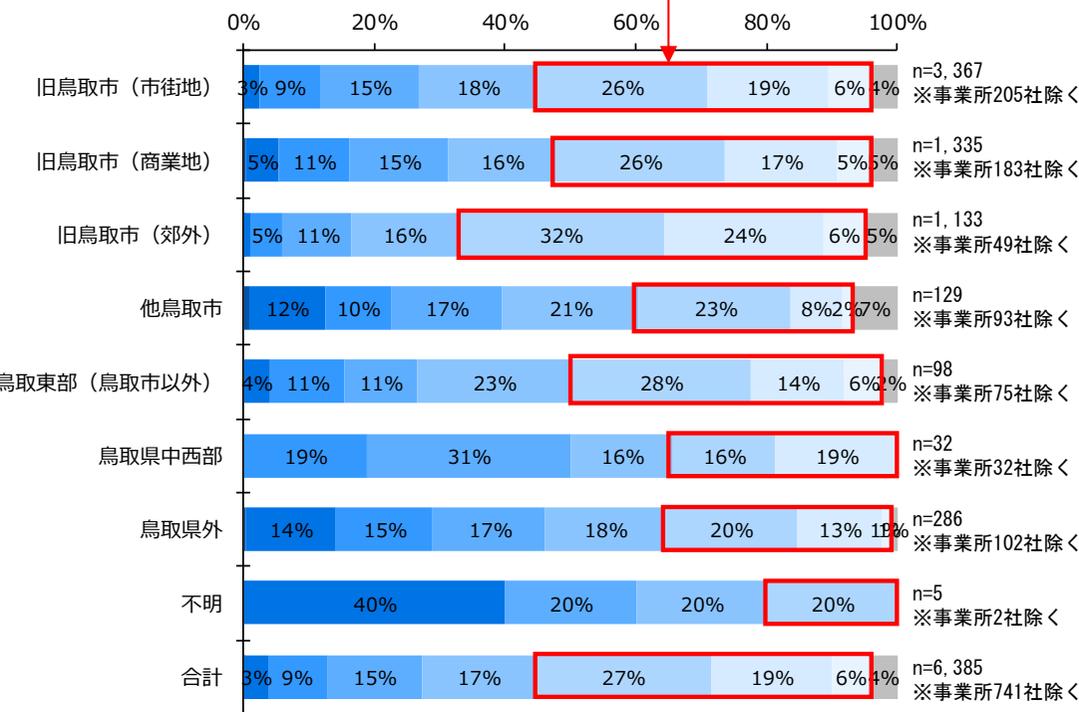
1) 住所別の属性分析（住民・道路利用者）

- 住所別年齢は、旧鳥取市など対象区間沿線地域ほど高齢者（60代以上）の回答割合が高い傾向。
- 住所別性別は、概ね男性が8割、女性2割である。

【住所×年齢（住民・道路利用者）】

総回答者数 N=6,385

60代以上

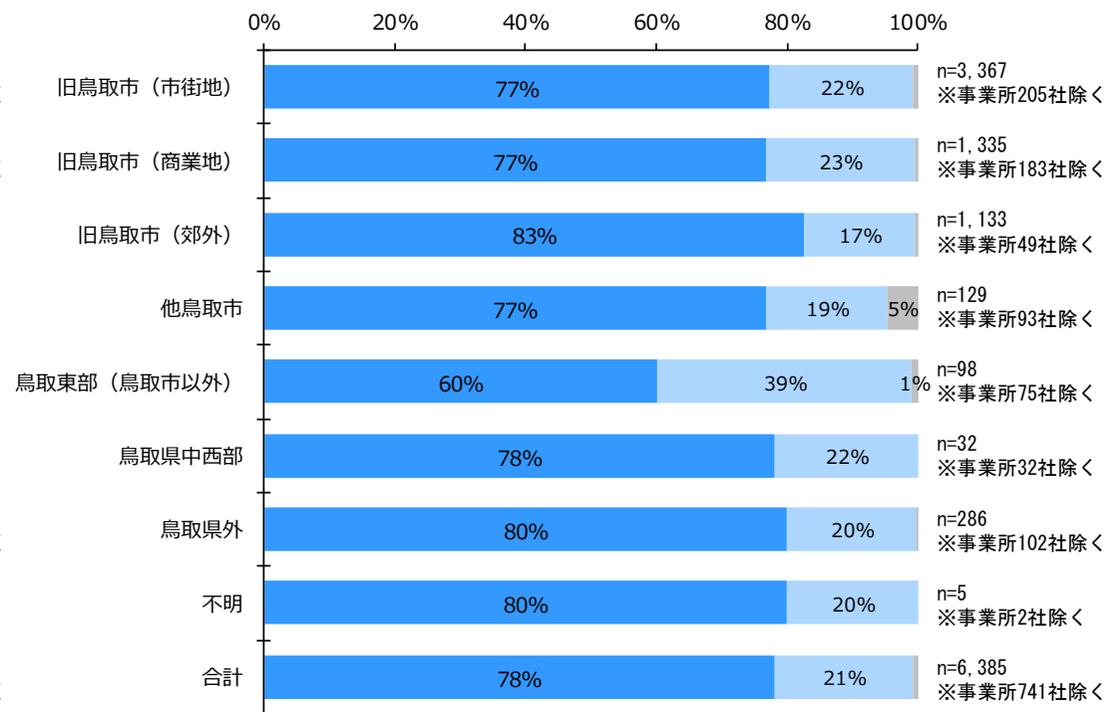


■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代以上 ■ 不明

※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※事業所アンケート（n=741）を除く

【住所×性別（住民・道路利用者）】

総回答者数 N=6,385



■ 男性 ■ 女性 ■ 不明

※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
※事業所アンケート（n=741）を除く

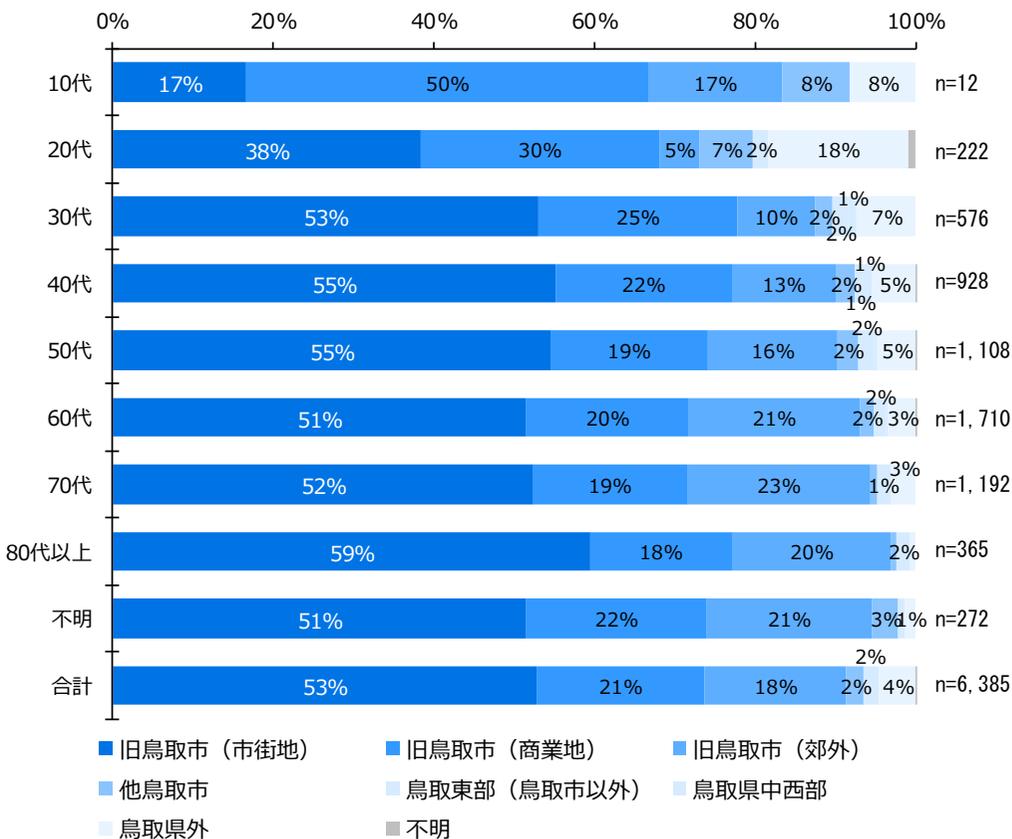
3. アンケートクロス集計結果

2) 年齢別の属性分析①（住民・道路利用者）

○年齢別居住地は、高齢になるほど旧鳥取市（郊外）の回答者の割合が高い。
 ○高齢になるほど、男性の回答割合が高い。

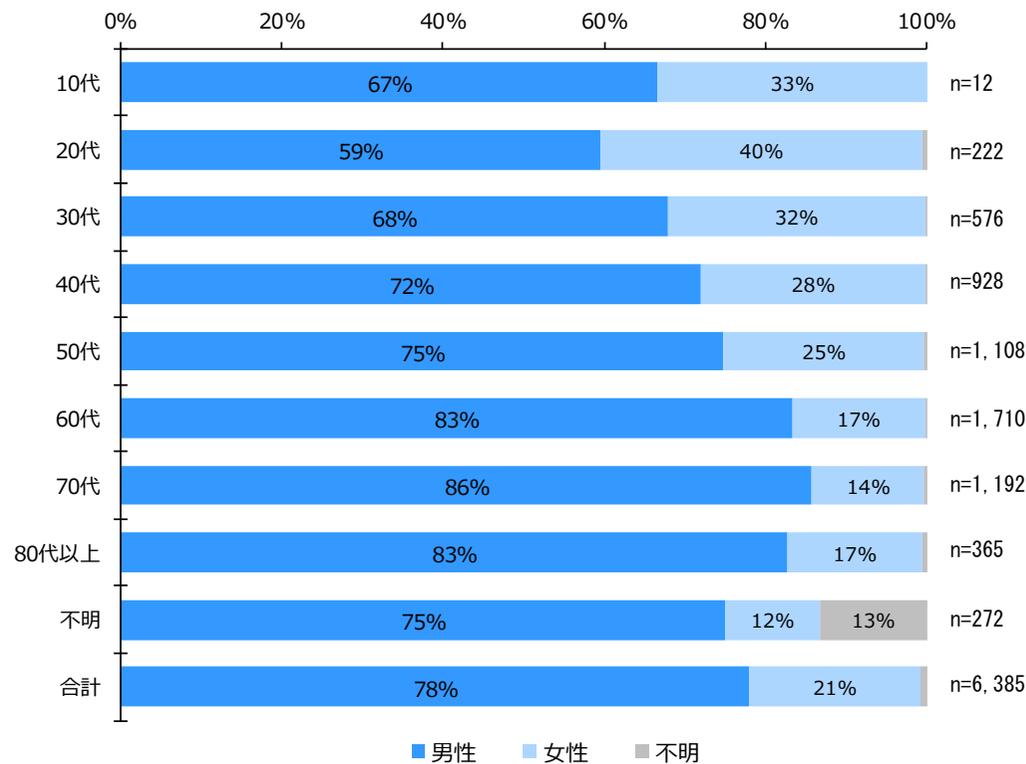
【年齢×住所（住民・道路利用者）】

総回答者数 N=6,385



【年齢×性別（住民・道路利用者）】

総回答者数 N=6,385



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※事業所アンケート（n=741）を除く

※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※事業所アンケート（n=741）を除く

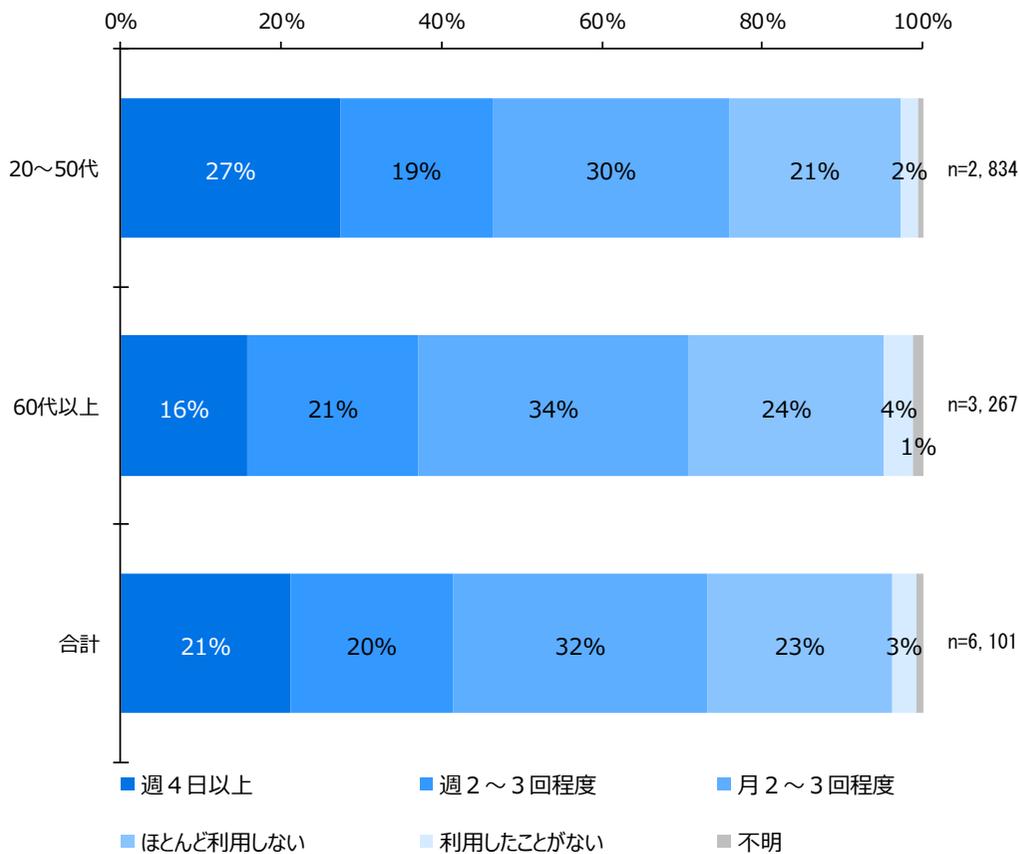
3. アンケートクロス集計結果

2) 年齢別の属性分析② (住民・道路利用者)

○年齢別利用頻度は、高齢になるほど利用頻度が低い。
 ○年齢別利用目的は20代～50代は「通勤」や「仕事」、60代以上は「家事・買い物」や「観光・レジャー」が高い。

【年齢×利用頻度 (住民・道路利用者)】

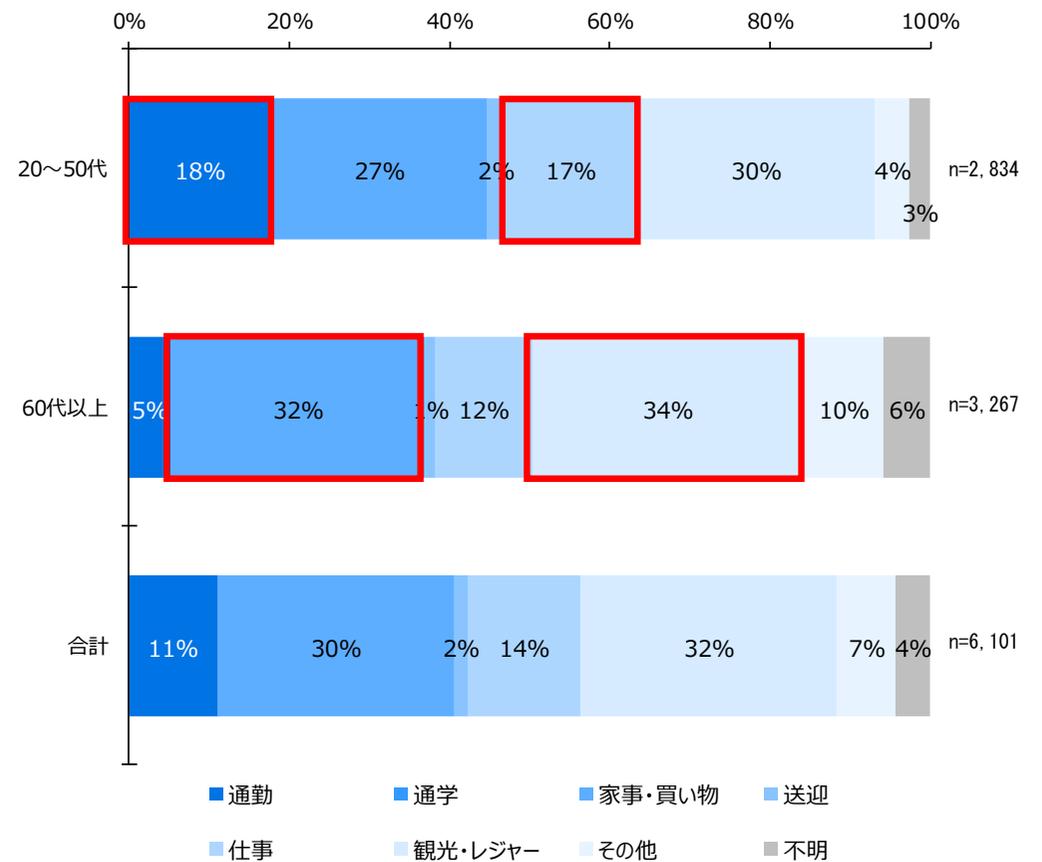
総回答者数 N=6,101



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※上記の内、10代 (n=12)、年齢不明 (n=272) を除く
 ※事業所アンケート (n=741) を除く

【年齢×利用目的 (住民・道路利用者)】

総回答者数 N=6,101



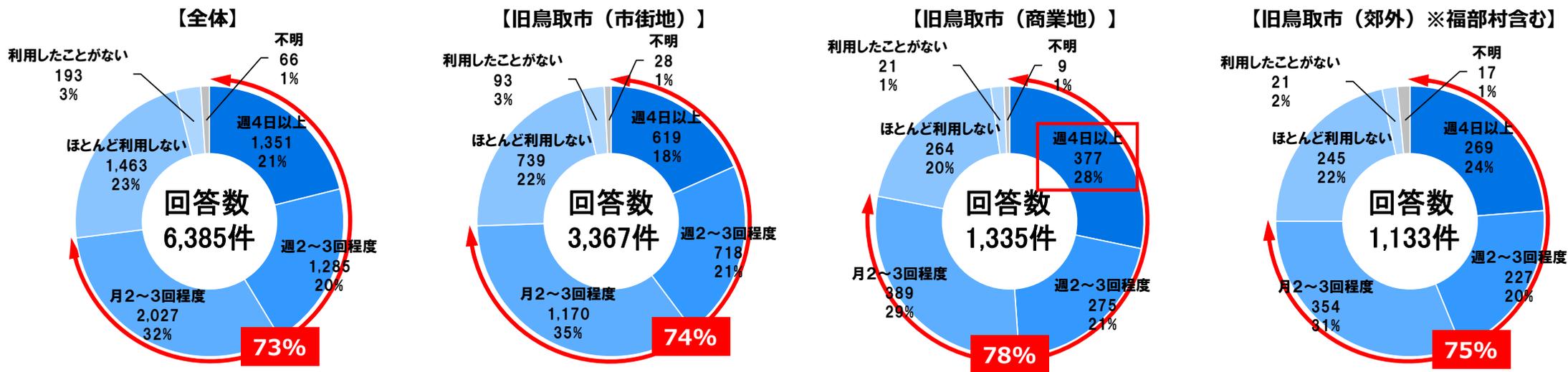
※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※上記の内、10代 (n=12)、年齢不明 (n=272) を除く
 ※事業所アンケート (n=741) を除く

3. アンケートクロス集計結果

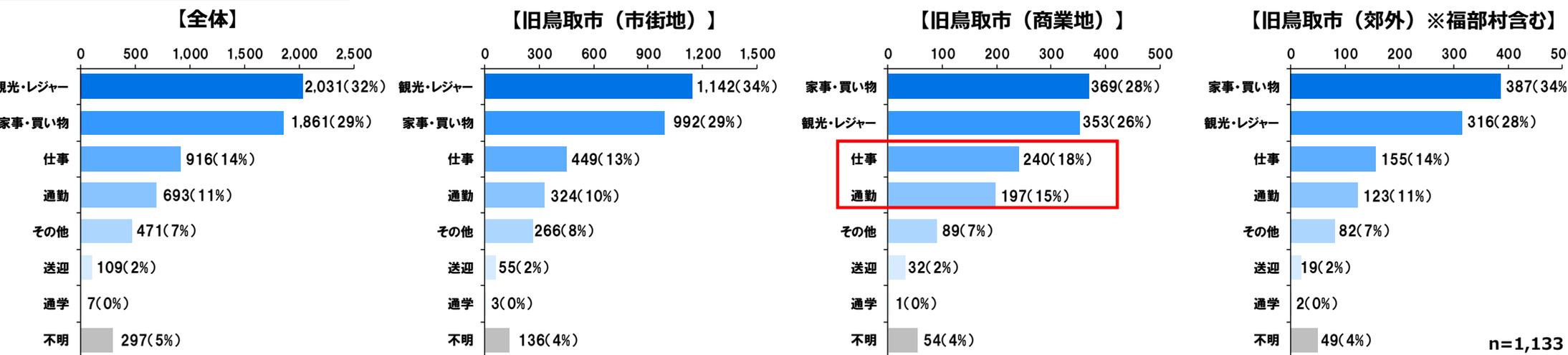
3) 住所別の利用頻度と利用目的分析 (住民・道路利用者)

○住所別の利用頻度は、同じ傾向を示すが旧鳥取市(商業地)が最も利用頻度が高く、週4日以上利用の割合も高い。
 ○利用目的は、全地域において「観光・レジャー」や「家事・買い物」が多い。割合で見ると旧鳥取市(商業地)では、「仕事」と「通勤」が他地域と比べ高くなっている。

【住所×利用頻度 (住民・道路利用者)】



【住所×利用目的 (住民・道路利用者)】



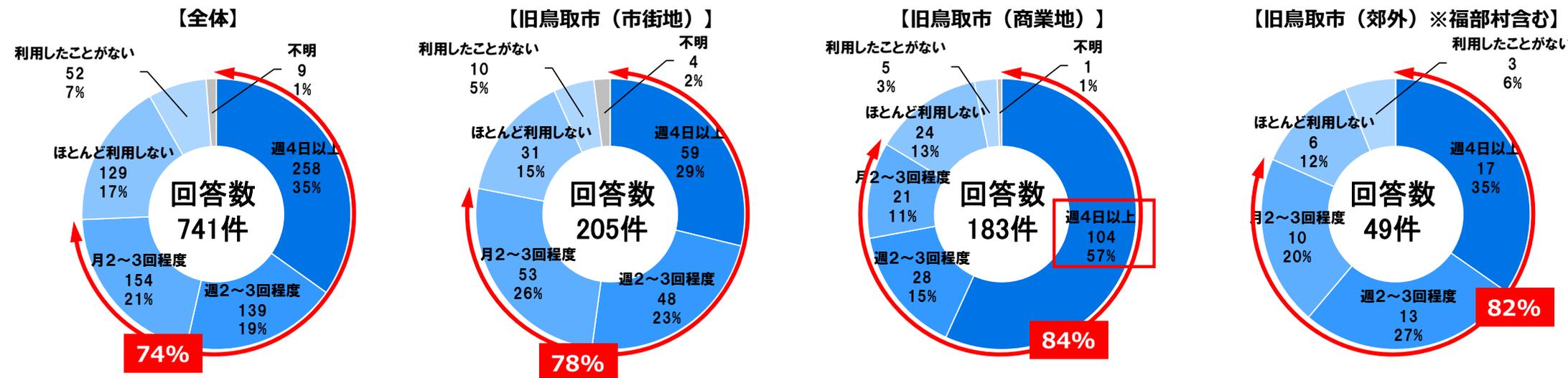
※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果
 ※事業所アンケート (n=741) を除く

3. アンケートクロス集計結果

3) 住所別の利用頻度と利用目的分析 (事業所)

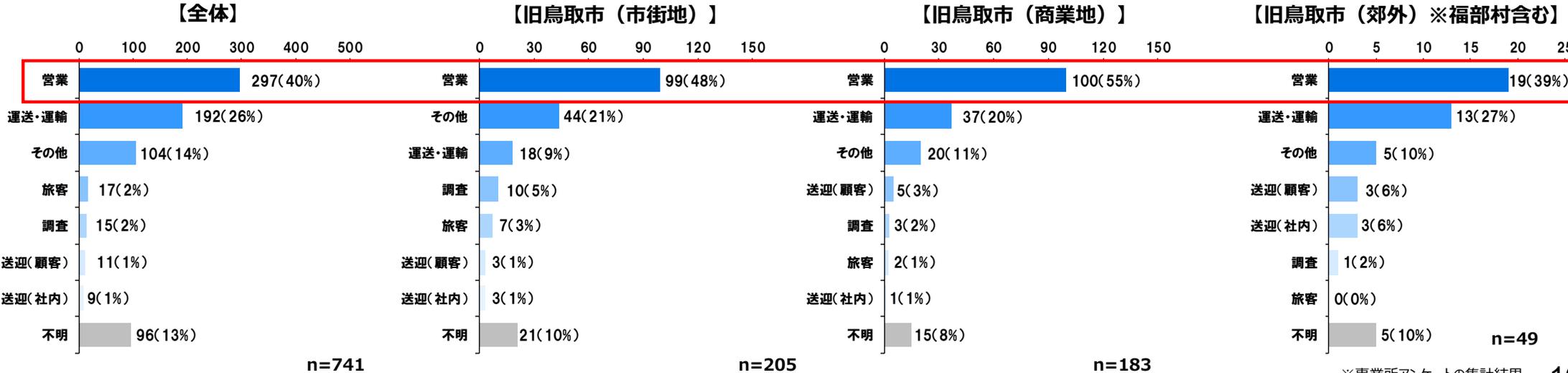
- 住所別の利用頻度は、特に旧鳥取市(商業地)が利用頻度が高い傾向にあり、週4日以上利用の割合も約6割と高い。
- 利用目的は、全地域において「営業」が多く、特に旧鳥取市(商業地)で回答割合が高い。
- 「運送・運輸」は全体の割合に対し、沿線地域の割合が低いことから、沿線以外の地域からの利用が多いと想定される。

【住所×利用頻度 (事業所)】



※事業所アンケートの集計結果

【住所×利用目的 (事業所)】



※事業所アンケートの集計結果

3. アンケートクロス集計結果

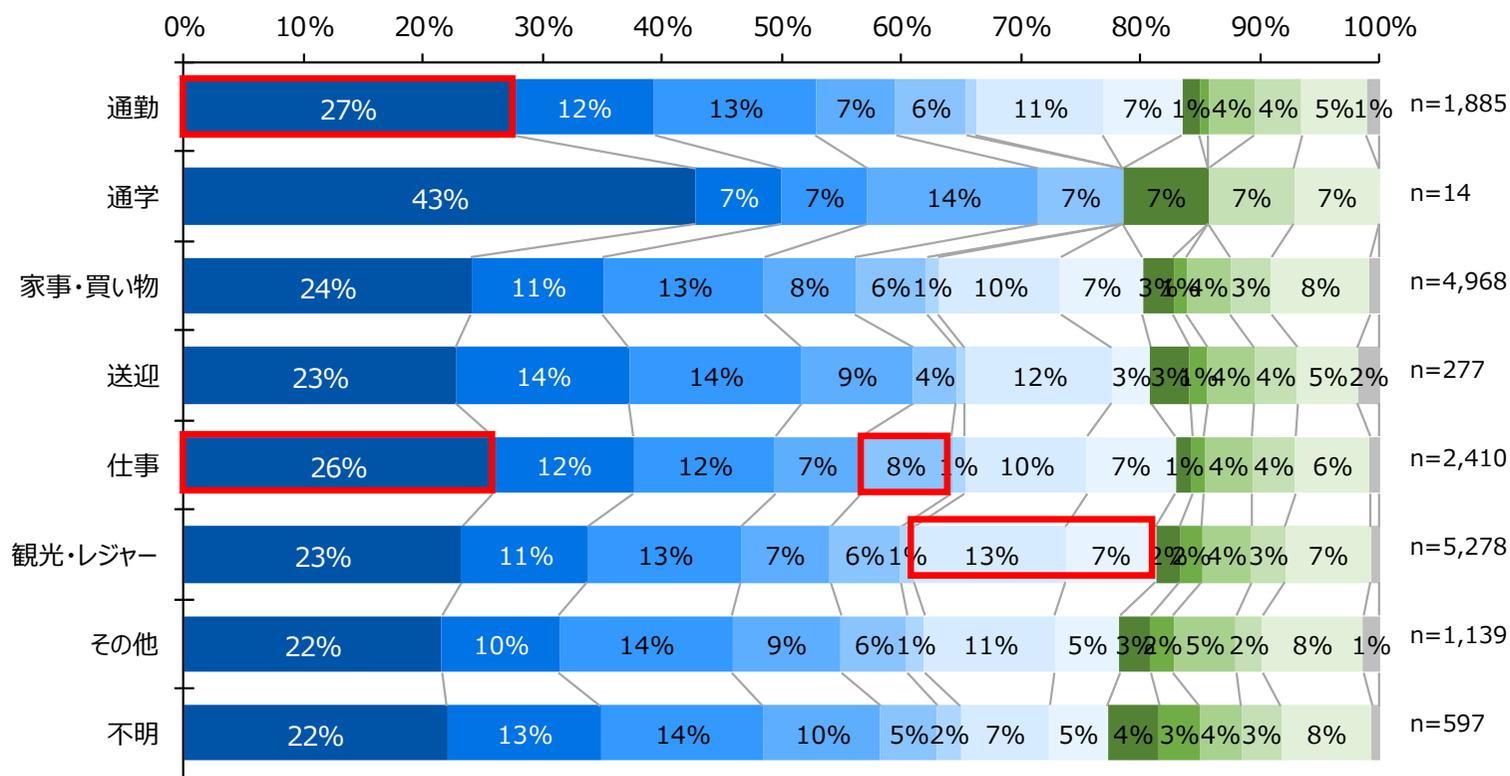
4) 利用目的別の特に重視すべき項目の分析（住民・道路利用者）

○回答数が極端に少ない通学を除き、全ての利用目的の方が同じ傾向を示しているが、利用目的が通勤や仕事の住民・道路利用者は、「①渋滞が緩和できること」を重視する傾向が強い。

○また、利用目的が仕事の場合は「⑤物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること」、観光・レジャーの場合は「⑦高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること」、「⑧移動の利便性向上により、周遊性が向上すること」を回答する割合が若干高くなっている。

【重視すべき項目×利用目的（住民・道路利用者）】

総回答者数 N=6,060



道路整備による効果・改善点

- ① 渋滞が緩和できること
- ② 交通事故が起きにくいこと
- ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
- ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
- ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
- ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること

配慮すべき点

- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 景観への影響が少ないこと
- ⑪ 人口集中地区を極力さけること
- ⑫ 工事時の交通渋滞の影響が少ないこと
- ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
- ⑭ その他

※住民アンケート及び道路利用者アンケートのうち、質問1に回答された方を対象に集計
 ※延べ回答数は、16,568件

3. アンケートクロス集計結果

4) 利用目的別の特に重視すべき項目の分析 (事業所)

○利用目的が運送・運輸の事業所は「⑤物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること」を回答する割合が高くなっている。

○利用目的が旅客の事業所は「⑦高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること」、「⑧移動の利便性向上により、周遊性が向上すること」を回答する割合が若干高くなっている。

【重視すべき項目×利用目的(事業所)】

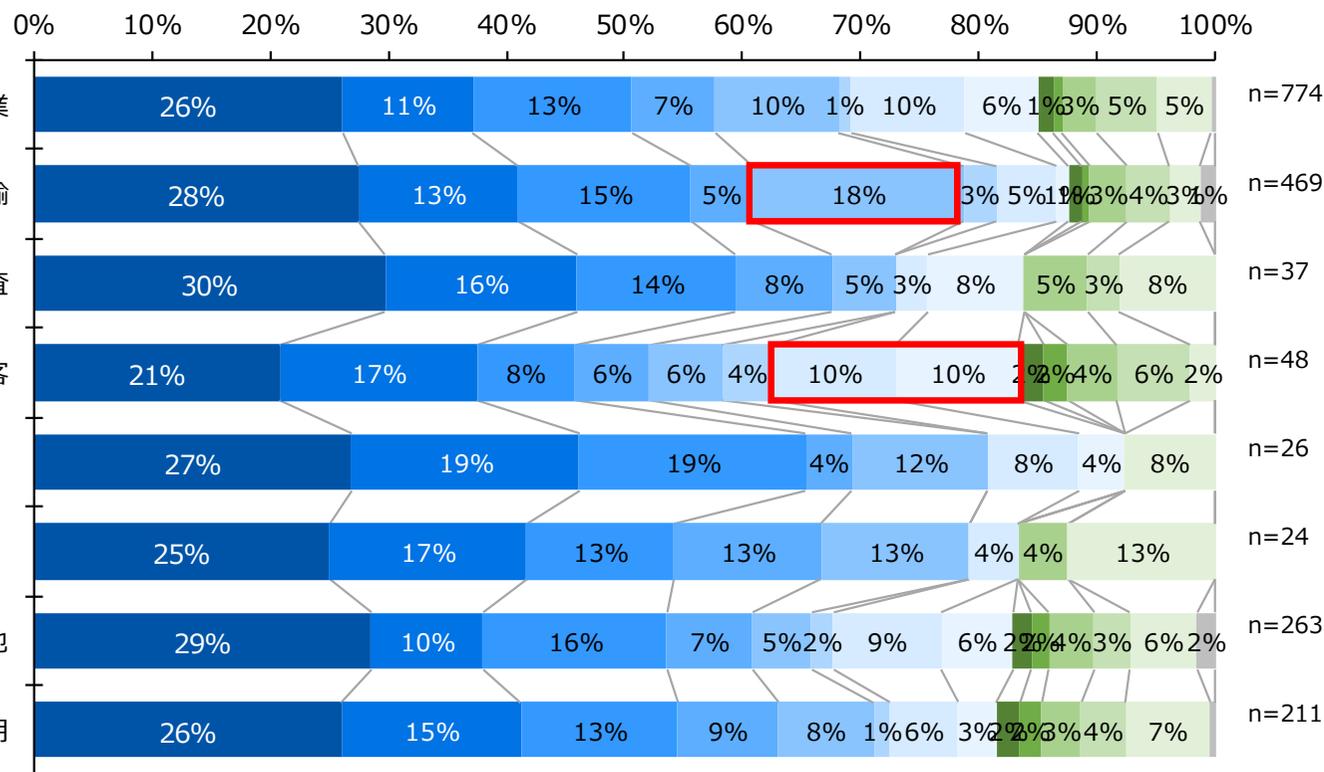
総回答者数 N=682

道路整備による効果・改善点

- ① 渋滞が緩和できること
- ② 交通事故が起きにくいこと
- ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
- ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
- ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
- ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること

配慮すべき点

- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 景観への影響が少ないこと
- ⑪ 人口集中地区を極力さけること
- ⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと
- ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
- ⑭ その他



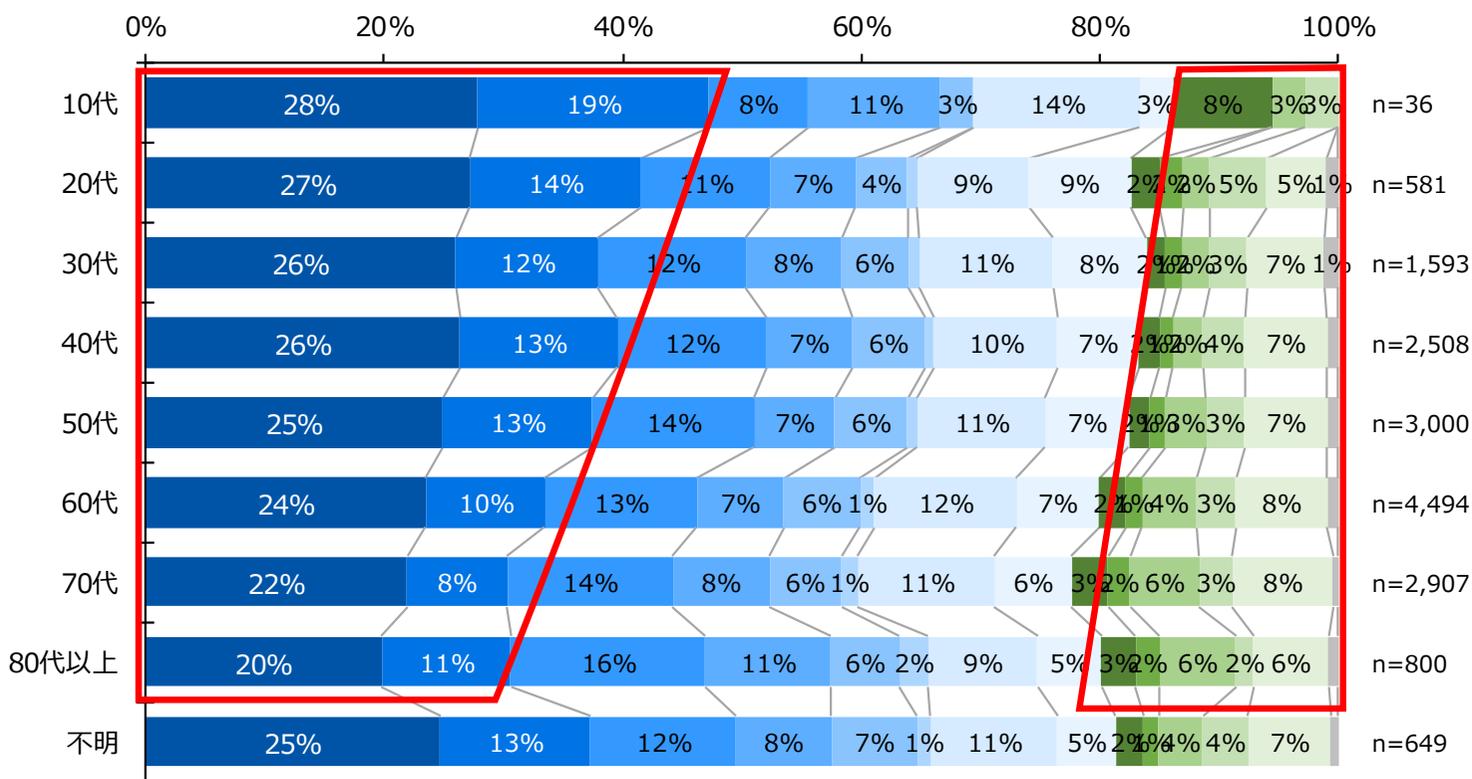
※事業所アンケートのうち、質問1に回答された方を対象に集計
 ※延べ回答数は、1,852件

3. アンケートクロス集計結果

5) 年代別の特に重視すべき項目の分析（住民・道路利用者）

○年齢が低いほど「①～⑧道路整備による効果・改善点」を重視する傾向にあり、特に渋滞や事故(①と②)について意識が高い。
 ○年齢の増加とともに「⑨～⑬配慮すべき点」を重視する割合が増加しており、特に「⑬道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと」を重視している。

【重視すべき項目×年代（住民・道路利用者）】 総回答者数 N=6,060



道路整備による効果・改善点

- ① 渋滞が緩和できること
- ② 交通事故が起きにくいこと
- ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
- ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
- ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
- ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること

配慮すべき点

- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 景観への影響が少ないこと
- ⑪ 人口集中地区を極力さけること
- ⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと
- ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
- ⑭ その他

※住民アンケート及び道路利用者アンケートのうち、質問1に回答された方を対象に集計
 ※延べ回答数は、16,568件

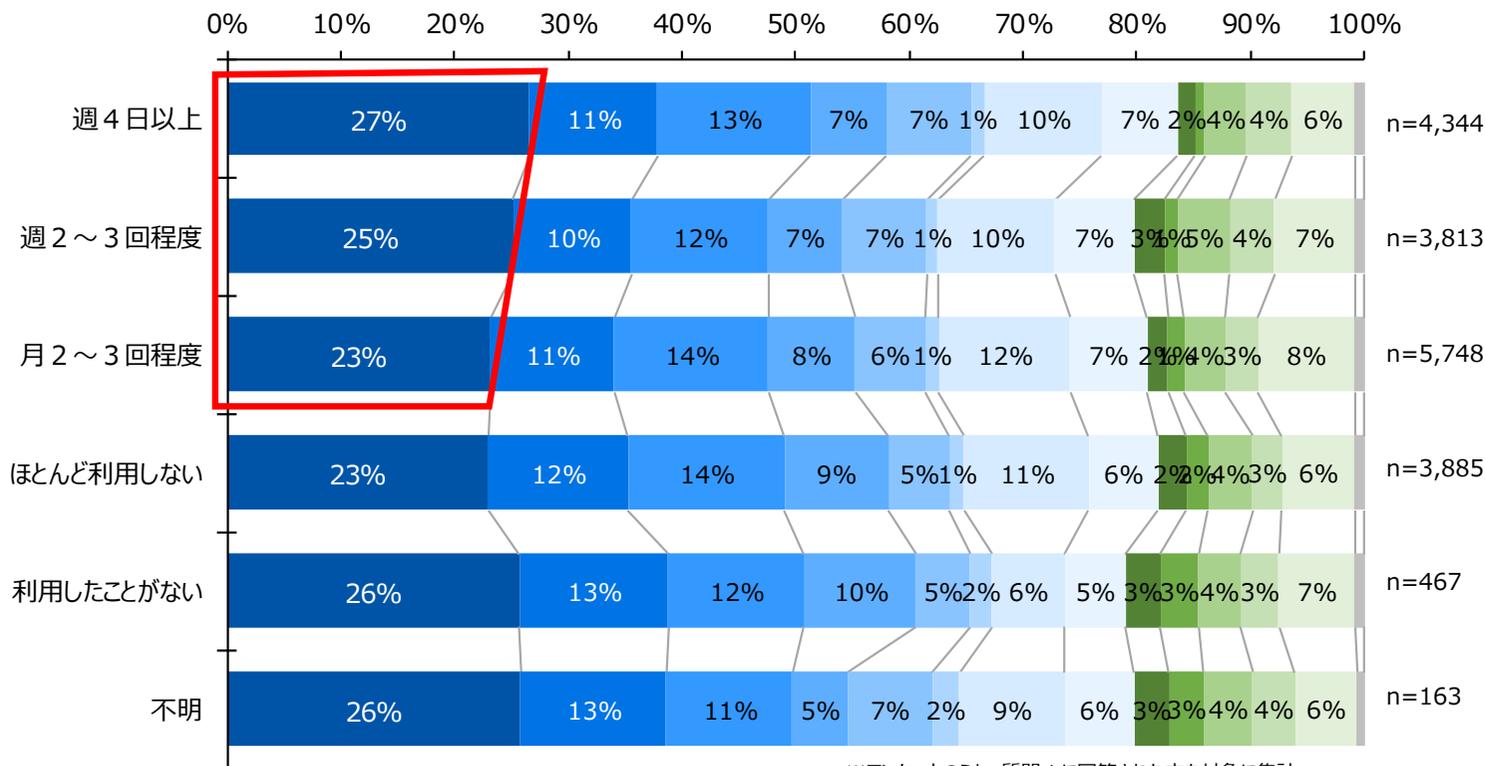
3. アンケートクロス集計結果

6) 利用頻度別の特に重視すべき項目の分析 (全回答者)

○利用頻度が月2～3回程度以上の中では、利用頻度が高いほど「①渋滞が緩和できること」を重視する割合が高い。

【重視すべき項目×利用頻度】

総回答者数 N=6,742



※アンケートのうち、質問1に回答された方を対象に集計
 ※延べ回答数は、18,420件

道路整備による効果・改善点

- ① 渋滞が緩和できること
- ② 交通事故が起きにくいこと
- ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
- ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
- ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
- ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること

配慮すべき点

- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 景観への影響が少ないこと
- ⑪ 人口集中地区を極力さけること
- ⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと
- ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
- ⑭ その他